



“リそにゃ”と

確定拠出年金・加入者の皆さまへのお役立ちニュースレター



2023
August
8月

制度〈基本〉

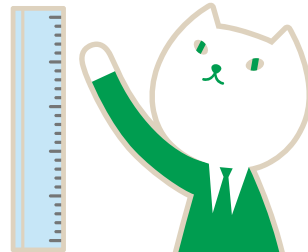
運用・商品〈基本〉

運用・商品〈実践〉

その他

ベンチマークって何？

ベンチマークとは、投資信託の運用実績を測るための比較対象となる「ものさし」となるもので、通常は代表的な市場指数が使われます。ベンチマークによく用いられる指数や、ベンチマークがどのように使われているのかについて見てみましょう。



4資産に用いられる代表的な指数(インデックス)

国内株式：「TOPIX」

TOPIX（東証株価指数）とは、主にプライム市場に上場する国内株式を対象とし、日本の株式市場を広範に網羅する指標です。1968年1月4日の時価総額を100として、その後の時価総額を指数化したもので、2023年7月末現在、2158銘柄で構成されています。日経平均株価と共に、日本の代表的なベンチマークとして普及しています。

外国株式：「MSCI KOKUSAI インデックス」

MSCI KOKUSAI インデックスは、日本を除く先進国の株価動向を示す代表的な指標です。日本を除く先進国22カ国に上場する大型・中型株約1300銘柄で構成されています。米国株式が全体の7割以上のウェイトを占めています。

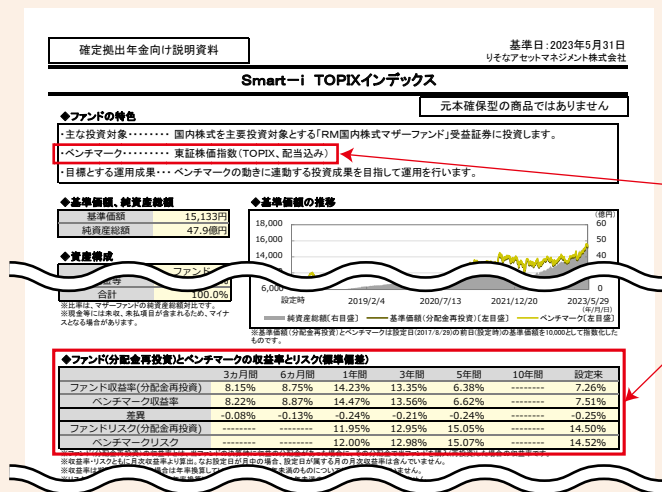
国内債券：「NOMURA-BPI」

NOMURA-BPIとは、日本国内で発行された公募固定利付債券（国債・地方債・政府保証債等）の流通市場全体の動向を示す代表的な指数です。1983年12月末を100として算出されています。

外国債券：「FTSE 世界国債インデックス」

FTSE 世界国債インデックスは、世界の主要国23カ国の国債市場の動向を示す指数です。1984年12月末を100として指数化したもので、米国およびユーロ圏の債券が約8割を占めています。日本では、23カ国から日本を除いたFTSE 世界国債インデックス（除く日本）が公的年金や投資信託等のベンチマークとして多く用いられています。

運用レポートでベンチマークを見てみよう



毎月発行される運用レポートでは、ファンドの直近の実績を確認することができ、レポートの内容にベンチマークが表示されている部分があります。

その商品が何をベンチマークとしているかが分かります。

ファンドの収益率とリスクをベンチマークと比較表示しています。ベンチマークと連動して動いているのか、上回っているのか、下回っているのか等を確認しましょう。

※運用レポートは、毎月下旬に、前月末のものに更新します。

※運用レポートは、加入者サイトの取扱い商品一覧から商品名を選んでクリックすると、商品詳細画面に掲載しています。

“リそにゃ”とまなぼ!は
毎月発行しています。

バックナンバーはこちら
からご覧いただけます。



<https://www.resona-tb.co.jp/401k/pop/channel/oshiete/>

2023年8月発行

リそな銀行 信託年金営業部
DC運営管理グループ

〒540-8607 大阪市中央区備後町2-2-1

本レターに関するお問合せ先

リそな銀行 確定拠出年金コールセンター
☎ 0120-401-987+「2#」

本レターの無断引用・転載はお断りします。

